

（I）

問 1

治安が悪化したシリアやアフガニスタンで発生した難民と、ムスリムの少数民族ロヒンギヤの問題をかかえるミャンマーからの難民は、主に隣接諸国で受け入れられているほか、難民受け入れに寛容なドイツでも受入数が多い。内戦が続いたスーダン・南スーダン・コンゴ民主共和国などは難民発生国であるだけでなく、難民受入国でもある。（154 字）

問 2

バルカン半島は元来、カトリック、東方正教、イスラームの文化圏が重なって多様な民族が居住する地域で、冷戦期には抑圧されていた民族・宗教間の対立が表面化し、その対立に起因する紛争・内戦が連鎖的に生じた。例えば、旧コソボ自治州のセルビアからの独立に際しては、正教徒のセルビア人によるムスリムの民族浄化にまで発展した。（155 字）

問 3

民族とは言語など共通の文化的特徴や帰属意識を持つ人々の集団である。現実には単一民族国家は稀で、ほとんどを占める多民族国家の中には、少数派民族を弾圧して多数派民族主導で国家の統合が進められたり、植民地時代に分割統治が行われたりした結果、民族間対立が深刻となり、紛争や内戦が生じた国もみられる。一方、民族間の融和を図るため、複数の公用語を定める国や、国内の特定の言語を優遇せず旧宗主国の言語を公用語とする国もみられる。（207 字）

（Ⅱ）

問 1

北極圏は、氷雪気候となっているグリーンランド内陸部を除いて、主にツンドラ気候となっている。夏季には白夜、冬季には極夜がみられる。近年、地球温暖化の影響により、北極海の海氷域の縮小が進んでいる。そのため、シロクマなどの生息域が狭まっているなど、生態系への影響も深刻である。また、永久凍土の融解で放出されるメタンガスにより、地球温暖化が加速されているほか、パイプラインから漏出した石油による土壌汚染も生じている。(204 字)

問 2

北極圏の上空は東西冷戦期には主要な航空路となっていた。船舶航路としては、北極海は、冬期を中心に長期間海氷に覆われるのであまり利用されてこなかったが、近年は地球温暖化の影響で海氷に覆われる期間が短くなりつつあり、東アジアとヨーロッパを結ぶ最短航路である北極海航路の開発やその利用期間の拡大の可能性が高まっている。(155 字)

問 3

さまざまな鉱産資源が豊富で、早くから石炭や鉄鉱石などが採掘され、世界各地に輸出・利用されてきたが、最近は主に石油や天然ガスの資源開発が活発化している。天然ガスの多くは海域の大陸棚に埋蔵されており、そこには好漁場もみられるため、今後はエネルギー資源や水産資源、観光資源の開発も拡大すると考えられる。(148 字)